

AFC ASAHI FAMILY CLUB

Premium Press

【AFCプレミアムプレス】

当紙は、道内(一部地域を除く)の朝日新聞ご購読者に、
無料で配布するフリーペーパーです。

朝日新聞

発行／朝日新聞北海道支社 企画・制作／(株)朝日サービス

Vol.79 2012年10月28日発行

毎月第2・第4日曜日にお届けします。

Contents

4 読者プレゼント
5 Movie



「シルク・ドゥ・ソレイユ3D 彼方からの物語」



「黄金を抱いて翔べ」

Hotel

グランドパーク小樽
ルネッサンスサッポロホテル
東京ドームホテル 札幌



6 AFC新規加盟店 &
ASAおすすめ店情報



HTB提供

VOL.15 石沢綾子 アナウンサー

7 男っぷりをあげる
着道楽のススメ

8 音楽 北海道を元気に♪
School of Music

LESSON 17

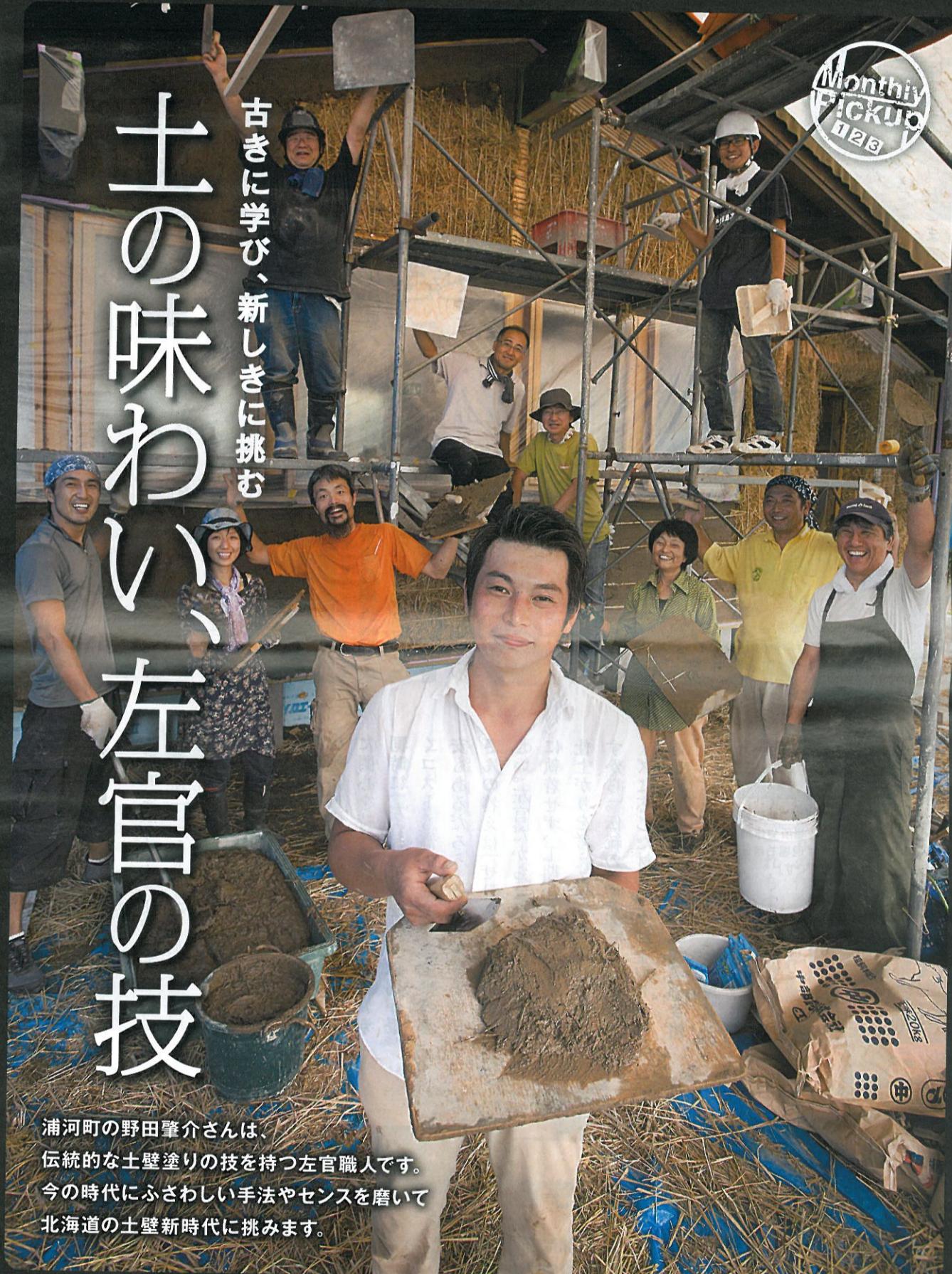
札幌市立北園小学校
ウインドアンサンブル

9 波木星龍の
八龍星★開運占い

10 AFCからのお知らせ

10

11



AFCに入会して、北海道を楽しもう!

Welcome to ASAHI FAMILY CLUB

アサヒファミリークラブ



afcアサヒ

検索

新規会員募集中

あなたでも無料でご入会いただけます
年会費無料&更新不要

次号は、11月11日(日)発行です。

『AFCプレミアムプレス』は、毎月第2・4日曜日の発行です。※ラック配置は、第2日曜日発行号のみとなります。



北海道の土で豊かな時間を届けたい 若き左官職人の挑戦

text／佐藤優子 photo／中村祐弘



二人の親方に鍛えられ

もしもあなたが「土壁を塗る左官職人を想像してください」と言われたら? 脳裏に浮かぶのは作業服姿に鎧を持ち、首にタオルを巻いたしわ深い熟練職人。もちろん性格は頑固一徹で寡黙な匠……などと勝手に思い描くイメージの対極に今回紹介する浦河町の野田肇介さんがいる。

初めて鎧を握ったのは小学校高学年の夏休みのこと。実家の野田左官店を手伝い、17歳で父栄吾さんに弟子入りした。仕事を一通り覚えた10年後、専門誌で「若手ナンバーワン」と紹介されていた久住有生さんの仕事を見たくて連絡をとったところ、現場に誘われ淡路島へ。数日で帰つも、「この現場を知らずに左官を語ることはできない」という直感に従い、帰郷を1年先送りに。業界最前線の現場で素材の使い方や仕事を楽しむ姿勢を教わった。

帰郷前、久住さんに今後の左官人生で大切にすべきことを尋ねた。答えは「志」の一言。どこまで高みを目指すかはすべて自分の意志次第。



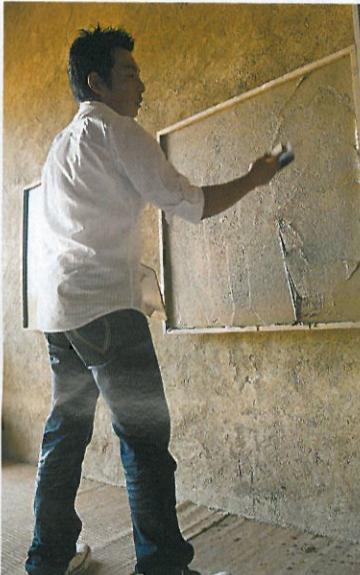
▲野田さんの後ろ左に見えるのは日々練習を重ねる黒漆喰の塗り壁

父と久住さん、二人の親方の下で学んだ野田さんが再びスタートラインに立った瞬間だった。

北海道の家は道産の壁土で

左官職人は建築物の内外壁や天井、床をも含む「塗り壁」のプロフェッショナル。味わいのある美観と耐久性を併せ持つ塗り壁の素材は土や漆喰、わらなどの自然素材からセメント、ガラス織維まで幅広く、時代とともに新建材や便利な既調合製品も開発された。

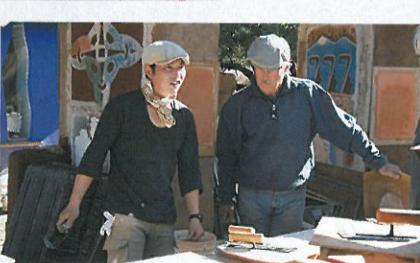
ところが野田さんの場合、手軽な既調合製品を遠ざけ、適度な粘りがある旭川の土や馬鹿地浦河のわらなどを語ることで、現場でもご覧の通りの普段着姿。「道具の置き場所や作業の手順、段取り通りに体が動けば現場も自分も汚れない。久住親方からの教えです」



▲野田さんはアトリエでも現場でもご覧の通りの普段着姿。「道具の置き場所や作業の手順、段取り通りに体が動けば現場も自分も汚れない。久住親方からの教えです」

▲幼稚園で土壁を塗るワークシヨップも随時受付中。ちびっこたちは泥遊び感覚で大喜び!

▲札幌のバー内装に使われる自作の日干しレンガ



▲2009年アメリカ・アリゾナ州を訪ねた技術交流の旅。写真右はストローベイル工法の大家ビル・スティーンさん

広くて近い左官職人の活動範囲



カフェぶらぶら
浦河郡浦河町大通4丁目9-6
TEL 0146(22)4033
[営] 11:00~17:00(土曜は~15:00)
[休] 日・祝日 [HP] <http://bethel-net.jp/>



▲浦河べてるの家のソーシャルワーカー池松さん。「定期的にライブも行い、まちの交流の場になっています」

▲左官の重要な仕事に神社仏閣の修復がある。これから始まる、浦河で80年以上の歴史を持つ曹洞宗光照寺の修復は野田さんの修復初仕事。「壊れた原因を徹底的に調べ、次の100年もたせる知恵と工夫を凝らします」



▲2010年札幌で多彩な肌合いの土壁を展示了個展を開催。冬に偶然生まれた表情を「しばれ」と命名した



▲壁土作りのため旭川の山から採取した土をふるいにかけ、石や枝を取り除く。野田左官店のベテラン職人久保田政洋さんと

左官のみにあらず
家の出番は

力フ工もお寺の修復も

浦河の社会福祉法人「浦河べてるの家」は精神障がいを抱えた人たちの生活共同体。自分たちで取り組む「当事者研究」や名産品日高昆布の販売などで全国から注目を集めている。2009年7月にはべてるの家メンバーの職場でもある「カフェぶらぶら」がリニューアルオープンした。このとき建築の素人も参加できるストローベイル工法が採用され、野田さんは左官指導を担当した。

ソーシャルワーカー池松麻穂さんによると「本州から職人を連れてくる話もあったので地元に野田さんがいたことはうれしい驚き」。わら積みや土壁塗りの指揮をとり、20日工期の予定を5日間に短縮した。「作業中いつもメンバーを励まし、ごく自然にはめてくれる野田さんの姿がありました。完成後みんなの心に『自分はここの壁を塗った』という愛着と自信が生まれましたし、地元の方にも居心地のいいカフェとしてご利用いただいてます」。得難い価値を生んだ左官仕事の一例となった。



▲前列左からストローベイル指導者の陣内さん、野田さん、「幸来」オーナー木村さん、建築家の西條さん

現場訪問!

「わらと土の壁」 ストローベイル工法ワークショップ in 洞爺湖町

セルフビルトを手際よく

今年の9月、洞爺湖町の現場に伺つた。新鮮野菜が評判の農家レストラン「幸来」が約12坪ほど増築するのだといふ。オーナーの木村眞理子さんは集うワークショップスタイルの増築が始まつた(レストランの営業再開は11月末予定)。

ストローベイル工法とはブロック状のわらを断熱材兼壁下地として積み上げ、その上から壁土を塗るアメリカ生まれの建築手法。高度な建築技術を用いないため「セルフビルト」で出来上がる。6年前に自宅をストローベイル工法で建てた陣内さんは「冬はじんわり暖かく、夏は冷房いらすの涼しさ」を身をもつて知る一人。だが「セルフビルトだからこそいかに手際よく作るかが大切。野田くんが加わったとき、神様がきた!」と思



▲難しい軒下や下地に段差があるところは野田さんの独壇場。「手数を少なく素早くきれいに」左官歴17年の鏝さばきだ



▲この日の素材は土、砂、大小2種類のわら、水に強度保持のセメントを4%。「土の柔らかい表情を壊さないギリギリの割合です」



▲オーナーの木村さんや初めての参加者も「わらにぶつけるように圧をかけて塗る」コツを教わり、メキメキと腕を上げていった

段取り8割、鍛錬の日々

3日間のワークショップはこの日が2日目。初心者ばかりとは思えないほど壁塗りの作業はスムーズに進んでいく。それもすべて「段取り8割」という仕事の定石を知る野田さんの指導があればこそ。土を練る、渡す、塗るの連携を常に先読みして指示を出していた。

淡路島から帰ってきて7年。浦河のアトリエには「いつ注文が来てもいいように」左官技術の最高峰といわれる黒漆喰を練習する壁があり、伝統の技を受け継ぐ鍛錬は怠らない。「34歳の自分はまだまだひよっこ。日々精進しながら効率重視の世界では見えてこない左官の豊かな魅力を皆さんに伝えたい」。古きに学び、新しきに挑む。気鋭の左官職人の活躍を次の現場が待つている。

B-1 締め切り 11月9日(金)
抽選で5名様に野田肇介さん作のキャンドルホルダーをプレゼント
左官の技術「版築」を駆使した土製のオリジナル作品(非売品)です。
いました(笑)と打ち明ける。

きまぐれな食堂「幸来」(さっくる)
虻田郡洞爺湖町成香455-3
TEL・FAX0142(87)2521
[HP] <http://www.sakkuru.jp/fmenu3.html>
※現在改装中で営業再開は11月末予定です。来店の際は要予約。

野田左官店
浦河郡浦河町井寒台125
TEL0146(22)0420
[HP] <http://www.nodasakan.com/>
札幌の建築家やデザイナーと組んだ案件も進行中

PR

朝日新聞



親子で読むなら「教育」の朝日新聞

新しい学習指導要領では、新聞を使った学習が取り入れられています。子どもたちの読解力の低下が指摘される中、新聞を活用することで、文章を読む・書く、自分の考えをわかりやすく話す、といった総合力を鍛えることができます。

教育記事に定評がある朝日新聞を、ぜひ親子で読んでみてください。

朝夕刊セット 月額購読料 3,925円(税込み)

★便利な口座振替、ご利用ポイントが貯まるクレジットカードでのお支払いも可能です。
お気軽に問い合わせください。

地元のASAがご自宅までお届けします!

お客様のエリアの担当ASA(朝日新聞サービスアンカー)では、朝日新聞のほかにもさまざまな新聞や書籍などを取り扱っています。お電話1本でご自宅までお届けいたしますので、お気軽にご注文を!



朝日小学生新聞

毎日発行・月額購読料 1,720円(税込み)

朝日中学生ウイークリー

日曜日発行・月額購読料 940円(税込み)

朝日新聞出版の雑誌・本もお届けします。

週刊朝日

定価 370円(税込み)

AERA

定価 380円(税込み)

※増大号など金額が変更になる場合がございます。

完全版いじめられている君へ いじめている君へいじめを見ている君へ

定価 1,000円(税込み)

朝日新聞や各種新聞のご購読・出版物のお申し込みは **0120・33・0843** (受付 7:00~21:00)

AFCウェブからもお申し込みいただけます。

afcアサヒ

検索